

●ニュース
平成19年度
花咲く一年に
しよう!

いた便り No. 7

2007. 4. 1



岡崎まち育てセンター・りたは、市民活動を応援します。



持続的 改善

3月3日、岡崎市南部地域交流センターにて、市民協働事業の報告会が開催されました(りたは、事業の審査員を派遣)。市民協働事業とは「市民と行政が手を取り合うことで、より大きな成果が上げられる」事業を公募し、市役所内部の調整会議を経て、予算化(議会承認)、翌年度実施を行うものです。平成17年度に始まったため、平成18年度に実施された事業が初めてでした。報告をよると、市民、行政双方が手探り、模索を続けてきたようです。3年~5年をかけて、じっくりと市民協働の文化を熟成させていくことが大切であると思われま



地域交流センターの利用者懇談会が開催されました。南部地域交流センター(3月23日)、北部地域交流センター(3月25日)それぞれの会場で「これまでの事業を振り返り、今後の事業計画を紹介する」のが目的でした。これを説明した上で、市民の皆さんからご意見をいただき、「市民に開かれた公共施設運営」を目指しています。「市民と共に育つ施設」を理念として、質の高い施設運営を目指します。



会員紹介

<岡崎美術協会>

岡崎美術協会は、昭和40年3月に美術の奨励を図ると共に、地域文化の振興に努めることを目的として創立されました。会員は、現在211名で、主に岡崎市内または近郊に在住・在勤の美術家・美術愛好家で構成されています。

【平成19年度の行事予定】

①第43回美術展(会員展)

5月2日(水)~6日(日)

於: 岡崎市美術館 入場無料

②第60回岡崎美術展(岡崎市と共催)

前期展 10月25日(木)~29日(月)

後期展 10月31日(水)~11月4日(日)

於: 岡崎市美術館 入場無料

③年末助け合い小品・色紙展

12月7日(金)~9日(日)

於: 岡崎市美術館 第1展示室 入場無料

会員の新作小品を格安で頒布、また一口5000円寄付いただいた方に、会員の色紙を抽選で差し上げます。



事務局 岡崎市十王町2丁目9番地

電話 (0564) 23-6432



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員(年会費10,000円)

個人会員(年会費3,000円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局(Tel 0564-45-4560)

会員募集中です!



連続コラム第2回『子孫へ残すべき社会』

社団法人岡崎青年会議所

理事長 鈴木和也



※りた会員の皆様からの投稿原稿をお待ちしております。青年会議所の鈴木様より、2月のコラムに続いて、第2回目の投稿です（次回6月号が最終回）。

戦後、先進国の協力の下、先人たちの絶え間ない努力により、すばらしい発展を遂げ、どんな物でも手に入り、不自由する事が無いほど便利になりました。経済的にも世界でも有数の経済大国となり、私たちの生活においても、必要なものは何でも手に入るほどの豊かな生活になりました。しかしながら、本当に今の社会は子孫へ残すべき社会でしょうか。

隣近所の方たちの顔は知っているものの、どんな人なのか、どういう家族構成なのかも解らないほどの近所付き合い、子どもを学校に行かせるにも安心して送り出せない、近所に遊びに行かせるにも安心して送り出せない、児童の保護者が学校に入るのに保護者であるという証明書を首から提げないと信用されない、本来自分を生んでくれた親に、暴行や簡単に命を奪ってしまう子どもが育ってしまう社会、また、逆に愛する宝であるべき子どもの生命を奪ってしまう親がいる現在の日本社会は、先人たちが苦勞し築き上げたかった社会なのでしょうか。

私たちは青年会議所では、まず身近に起こっている問題に対して、市民自治（一人ひとりが自分、自分たちに関することは、自身の責任・義務において行う）の意識を育み、心から豊かで安心して暮らせる「おかざき」にしていきたいと願っています。

地域でなにか問題が起こると、解決しようと単に行政にポンと投げかけてしまう。このような要求型運動だけでは、もう地域の課題を地域に則して解決していく事ができなくなる。やはりその原点は、「地域のことは地域の人達が考えていく」ということをベースにしなければ、地域の問題は解決できない。そんな状況の中で「地域のあり方はどうあるべきな

のか」みんなが考えていく必要があると思います。

そのためには、NPOあるいは自治会・町内会の方々がバラバラに地域の問題に取り組んでいくのではなくて、お互いに良いところを活かして地域のあり方をきちんと提案できるような状況を創っていかなければ地域は進んでいけないのではないのでしょうか。そんな状況下で、それぞれの組織がお互いにいいところを生かし、そして連携しながら地域社会を構築していく「りた」という中間支援型NPOが求められたのではないかと考えます。

総代会・社会教育委員会などの住民組織は、全戸が参加することを前提に組織されているのは、世界的に見ても日本だけです。このような組織形態を持った組織は、「地域を代表する」という性格を持ち、いろいろな問題解決に向けての意見や活動は地域を代表する意見であり、地域住民全員の意思であるということになります。非常に多岐にわたる課題を取り上げ、活動している。これが地縁組織の特徴だと考えます。この日本独特の組織形態、自治体をより本来の姿になっていただくために、私たちは2004年度より賛同をいただいた3地域（緑丘・愛宕・奥殿）の皆様とともに小規模ではありますが、コミュニティ・シンクタンクを形成するため昨年までの3年間、共に活動してまいりました。

子どもから高齢者までが関わり、わかりやすく発信する仕組みを確立すること。地域の様々な要請や要望に応えられるコミュニティ・シンクタンクのシステム確立を目指し、必要性を発信し、私たちの人脈や行動力を生かし協働してまいりました。

本年はこの経験を踏まえ、2月号でも触れました、山中小学校区、広幡小学校区、そして「りた」と私たちが考える市民自治の意識を育てようと活動してまいります。皆様も共に愛する宝である子孫のために頑張りましょう。

『行政から NPO への委託事業の積算に関する提言』報告

2007年2月22日(木)13:00より、あいちNPOプラザにて、「行政からNPOへの委託事業の積算に関する提言」フォーラムが開催されました。これは、愛知県民生活部社会活動推進課NPO・ボランティアグループが事務局となって、「NPOと行政の協働に関する実務者会議」が設置され、ここでの議論や調査研究の成果として取りまとめたもので、NPOとの事業提携をする際の積算方法に関する考え方が提示されました。(詳細は、あいちNPOプラザHP <http://aichi.npo.gr.jp/> を参照)

提案の概要

1. 指定管理者へのNPO参入など、長期的に公共事業の担い手としてのNPOが生まれてきた一方で、NPO側の積算能力の低さもあだとなつて、組織の存続が危うい例もある。
2. 事業内容に見合った人件費(事業を企画、遂行する基幹スタッフの対価)、直接経費の未整備(法定福利費他)、間接経費の未整備によって、異常な低コスト体質がNPOにある。
3. 間接経費は、企業では120%、財団法人で100%が一般的。しかし、現状NPOで0%となっている事例が大半。NPO実務者が、持続的組織経営をする知識をもつ必要あり。
4. (現状では異常な状態にある)直接経費を適正化した上で、間接経費を30%とする試案が提示された(※)。

【積算方法の指針】

- (3つの事業区分とそれに対応する人件費の例)
1. 「企画や業務を責任もって実施する事業」では、責任者(時給2800~3600円)、主任(時給2400円)、スタッフ(時給1600円)+法定福利費
 2. 「高度な専門性を必要とする事業」では、主任技師(日当46300円)、技師(日当25900~40100円)、スタッフ(21500円)。
 3. 「施設管理運営事業」では、責任者・40代想定(年収500~638万円)、主要スタッフ(年収436万円)、スタッフ(年収295万円)+法定福利費。
 4. そのほか、責任の少ない補助スタッフ(時給700円)、無償ボランティアに大別。

※イギリス政府とNPOが交わしているCOMPACT(盟約)では、「フルコスト回収」という概念が提起され、行政がNPOと契約する際に、間接経費に配慮するよう明記されている。



英国では「NPO(現地ではチャリティ団体と呼びます)は政府のパートナーである」ことが、COMPACT(盟約)として取り交わされています。社会的な事業を展開しながら、事業採算を確保するNPOを「事業型NPO」と呼びますが、日本では、NPOを支える法律(特定非営利活動促進法)の不十分さも含めて、まだまだ市民セクター・NPOセクターが未熟な段階であることが浮き彫りになっていました。岡崎で事業型NPOを育てるのも、私たちの使命です。今後も情報収集に努めます。

岡崎まち育て情報

…「りた」は岡崎市内各所のまち育て活動を支援し、市民と行政の対話を促進しています。



① 「私たちの問題をみんなで考える」

シンポジウム

日時：4月8日(日) 13:30~16:30

場所：コミュニティサテライトオフィス

主催：りぶらサポーターしんぽ部会

内容：「エコ発電等、環境保全活動の取り組み報告」「婦人会館閉館後の自主グループの活動継続」を話題として、4名のパネリストが熱く議論します。具体事例を素材に、これからの岡崎(持続可能な環境、持続可能な市民活動)を語り合います。

② 「第14回りぶらサポーター支援会議」

日時：4月12日(木) 9:30~12:00

場所：岡崎市役所806号室

主催：りぶらサポーター世話人

内容：(仮称)岡崎市図書館交流プラザ・Libra(図書館を核にした生涯学習複合施設)が平成20年秋に開館します。施設が開館する前から市民サポーター活動が開始。サポーター活動の世話人が集う会議の事務局を、りたが担っています。

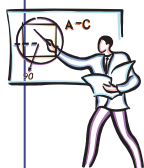
③ 「りぶらサポータープロジェクト申請説明会」

日時：4月12日(木) 13:00~15:00

場所：岡崎市役所806号室

主催：りた事務局

内容：平成19年度りぶらサポータープロジェクト(前述のLibraをよりよい施設にする市民プロジェクト、5月7日締切)の申請方法説明会を開催。市民の楽しみと学びと交流の拠点づくりに参加しよう。



④ 「りた事務局会議」

日時：4月13日(金) 9:30~12:00

主催：りた事務局

内容：岡崎まち育てセンター・りたの事務局会議(月に1回定例)。年度が明けて最初の会議ですので、昨年度の事業報告が中心となる予定です。平成19年度の事業展開についても意見交換します。



専門家派遣の情報

…近隣地区の市民参加型まちづくりに専門家派遣をしています。



【三好町】

「池もみの事前調査」

日時：4月8日(日) 14:00~17:00

場所：三好町打越地区馬池、さんさんの郷

主催：打越地域の住民有志

内容：まちづくり講座を受講した地元住民が「ため池を活用して子どもの遊び場をつくろう」と、池もみ(池の水を抜いて掃除)の再現を計画。これの事前調査と企画への助言を行います。



【岡崎青年会議所 4月例会】

「どうしたら参加してくれるの？」

日時：4月19日(木) 18:45~20:35

場所：岡崎商工会議所 大ホール

主催：岡崎青年会議所

内容：秋津小学校(千葉県)は、お父さんが参加する地域・学校づくりで、全国的に注目されています。秋津小から岸裕司氏を迎えた講演会の後、ラウンドテーブルを開催。コーディネーターを派遣します。

事務局
より

4月から新規採用するスタッフと共に、更にチームワークよく活動を進めます。

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
☎(0564) 45-4560 Fax(0564) 45-4560